

# 年頭あいさつ



町長 佐藤 晴彦

## 迎春

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日ごろより町行政運営に對しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、町政運営におきましては、各事業とも、おおむね順調に推移し、極めて大きな問題となっていました。光中学校北側の旧ひかり食品跡地での微量PCB廃棄物処理施設問題につきましては、断固反対の姿勢で臨み、試験研究に使用された微量PCB廃棄物のトランスな

どのほか実験装置のすべてが県外に搬出され、3月末に建物の解体とこの場所での事業の撤退を確認いたしました。

これは、行政と議会、地域の皆さまをはじめ多くの町民の皆さまが一つになり協働して取り組んだことが、実を結んだものと考えております。

地域防災計画推進事業につきましては、当町における災害対応のための基本的かつ総合的な計画として、3月に地域防災計画を新たに策定いたしました。

これにあわせ津波対策の充実を図るべく、9月に津波一時避難施設であります上堺小学校と白浜小学校に

屋上へ避難するための外階段を設置し、本年3月末までには光楽園老人ホームに外階段が設置される予定であります。さらに、立会地先に約100人が収容できる津波避難タワーの建設も進めているところであります。

日吉小学校屋内運動場改築事業につきましては、5月に着工し、本年3月の竣工に向け進めております。来年度には南条小学校屋内運動場の改築を計画しており、これにより学校の耐震化が完了する予定であります。

公共交通の利便性の向上を図るための乗合タクシー運行事業につきましては、12月から新しい循環バスと乗合タクシーを合わせたデマンド交通システムが運行を開始いたしました。これにより、より便利で、より公平で、より効率的な公共交通体系が確立されたものと確信しております。

このほか、駅前広場整備事業や栗山川架橋事業など、総合計画に基づく各事業も一歩ずつではありますが、着実に進捗しております。これもひとえに議会をはじめ町民の皆さまのご理解とご協力の賜物とあらためて感謝申し上げます。

一方、人口減少や少子高齢化の進行が極めて深刻な問題となっております。合併直後の平成18年4月から26年4月までの間で、人口は1,700人余り減少し、65歳以上の高齢化率は、31パーセントに達しました。

このような状況から、子育て支援の拡充をはじめ少子化対策、地域医療対策、介護対策などの福祉事業の充実と定住促進等の人口減少対策の推進に努めてまいりたいと考えております。また、栗山川周辺環境ポランテアにおいては、事業所や子どもから高齢者まで多くの町民の皆さまの参加のもと、快適な水辺づく

り・環境美化活動が行われております。町といたしましても、ポランテア活動をはじめ協働のまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

当町は比較的安定した財政状況にありますが、地方を取り巻く環境は、依然として非常に厳しいものがございまして、次世代のために、行財政改革を推進し、健全財政の堅持に努め、将来に亘って、安心して住み続けていただけるよう総合計画の基本構想に掲げた町の将来像である「栗山川の流れがはぐくむ人・自然・文化が共生するまち」協働のまちづくりへの実現に向け、精いっぱい努力してまいりますので、皆さまにはより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたしま